



流山市長 井崎 義治



流山市

Nagareyama city



流山市は、平成29年1月1日に市制施行50周年を迎えました。

■ 本市の概要	
市制	昭和42年施行
人口	182,356人
世帯数	75,094世帯
面積	35.32平方キロメートル
市の木	つげ
市の花	つつじ

※ 人口、世帯数は平成29年5月1日現在。

都心から一番近い森のまち



流山市は千葉県の北西部に位置し、東は柏市、西は江戸川を隔てて埼玉県三郷市と吉川市、南は松戸市、北は利根運河を挟み野田市と接しており、都心から25km圏に位置する、水と緑の豊かな自然が息づく都市です。

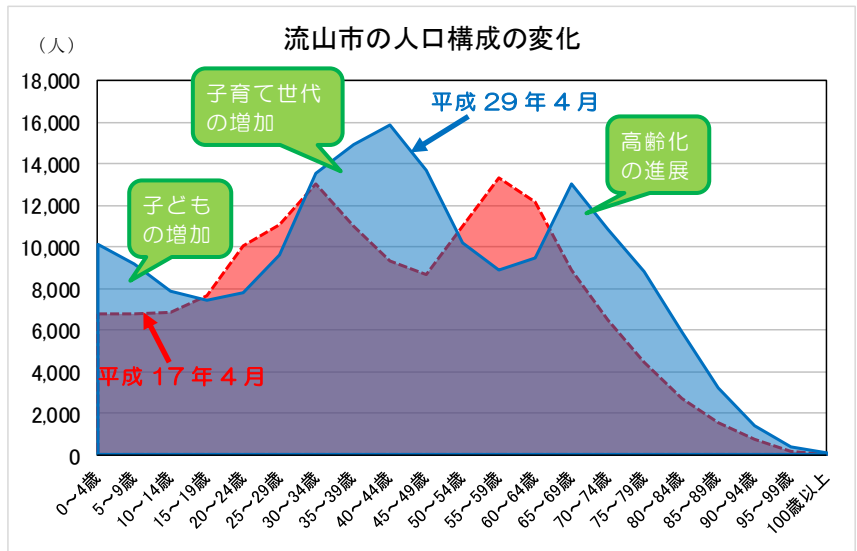
平成17年8月に、市民待望の都心直結の鉄道「つくばエクスプレス（TX）」が開業し、秋葉原と20分台で結ばれました。鉄道の開業にあわせ、市内640ヘクタールで区画整理事業が進んでおり、区画整理の進捗と合わせたマーケティング戦略等により、30代40代の子育て世代を中心に人口が急増しています。

その一方で、つくばエクスプレス開業によって宅地開発が進行し、緑地の減少が進んでいることも事実です。

このような都市環境の急速な変化は、市民の健康を左右するさまざまな要因にも大きな影

響をもたらすことが予想され、開発に伴う環境の変化と環境保全・環境創出のバランス、失われた緑を回復していくことが課題となっています。

残された緑地の保全を図るとともに、減少した緑を回復するために、市民、民間業者、各種団体が連携・協力して市全体で「グリーンチェーン戦略」や「まちなか森づくりプロジェクト」などを通じて、新たな緑の創出に努め、「都心から一番近い森のまち」のさらなる発展を目指していきます。



緑がまぶしい流山おおたかの森駅南口

全ての施策に健康視点を！

Health in All Policies

流山市の健康都市に向けた取組み

本市は平成19年1月1日、市制施行40周年記念事業の1つとして「健康都市宣言」を行いました。その後、同年4月に健康都市連合日本支部に加盟し、WHOが提唱している健康都市の理念に基づいた健康都市施策を推進しています。

昨年7月には、本市のキックマン アリーナにおいて「ひともまちも Healthy に！」というテーマのもと、第12回健康都市連合日本支部大会を主催・開催しました。

流山市健康都市プログラムの推進

流山市民の健康で豊かな暮らしづくりを推進することを目的として、健康増進を保健・医療分野だけでなく、環境・まちづくり・福祉・教育・地域社会・文化・スポーツなど、都市の幅広い分野の参加と連携を通じて都市全体で実現していくために健康都市施策を推進しています。プログラムでは、市が実施する施策や事業を「健康」という観点から再編成し、包括的な健康都市施策を推進しています。

流山市が進める健康都市施策体系

健康都市施策の5つの柱

リーディング事業



グリーンチェーン推進

1	心と体を健やかに育むまちづくり (保健・医療分野)	歩く健康づくり推進事業
2	緑の回復・保全と安心・安全のまちづくり (環境・都市基盤・安心・安全分野)	グリーンチェーン推進
		緑化啓発事業 まちなか森づくりプロジェクト
3	子育て環境の充実・長寿社会対応のまちづくり (福祉・教育分野)	送迎保育ステーション事業
		高齢者ふれあいの家支援事業
4	地域の豊かな文化とスポーツを楽しむまちづくり (地域社会・文化・スポーツ分野)	スポーツフィールド整備事業
		みんなのスポーツ活動推進事業
		健康・体力づくり活動事業
5	安全で健やかな食生活を楽しむまちづくり (食育・地産地消分野)	健康管理増進事業
		このまちごはんプロジェクト



送迎保育ステーション



まちなか森づくりプロジェクト

【問合せ】
流山市役所総合政策部企画政策課
企画政策班 04-7150-6064